

化学物質安全性データシート

商品名:ブロマックス5 (GHS 版)

作成日 2019年1月1日

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称 ブロマシル 5% 粒剤
 会社名 株式会社ハート
 住所 東京都千代田区富士見 1-12-9
 電話番号 03-5212-1365
 緊急時の電話番号
 Fax 番号 03-3221-0035
 メールアドレス
 用途 除草剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	自然発火性固体	区分外
健康に対する危険性	急性毒性(経口)	区分4
	急性毒性(経皮)	区分外
	急性毒性(吸入:気体)	分類対象外
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない
	急性毒性(吸入:ミスト)	分類対象外
	皮膚腐食性・刺激性	区分3
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2B
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分2
	生殖毒性	区分外
特定標的臓器・全身毒性	区分3(麻酔作用) (単回ばく露)	
特定標的臓器・全身毒性	区分外(反復ばく露)	
吸引性呼吸器有害性	分類できない	
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分1
	水生環境有害性(慢性)	区分1

* 記載の無い危険有害性については分類対象外または分類できない。

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



意喚起語
 危険有害性情報

危険
 発がんのおそれ
 呼吸器系の障害
 長期にわたる、または、反復暴露により臓器(呼吸器系、腎臓、肺)の障害
 水生生物に非常に強い毒性

長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き (CLP規則)

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
必要に応じて個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。

粉じん、ヒュームを吸入しないこと。

環境への放出を避けること。

【応急措置】

取り扱い後はよく手を洗うこと。

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。

吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを求めること。

眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。漏出物は回収すること。

【保管】

施錠して保管すること。

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

[組成]ブロマシル %粒剤

成分情報

(1) 化学名又は一般名

ブロマシル

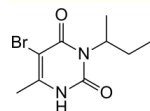
別名

5-ブロモ-3-セカンダリ-ブチル-6-メチル-1,2,3,4-テトラヒドロ
ピリミジン-2,4-ジオン

分子式(分子量)

C₉H₁₃O₂N₂Br (261.1)

化学構造式



CAS 番号

314-40-9

官報公示整理番号

(5)-934 化管法 分類 第一種 1-383

(2) 濃度または濃度範囲

ブロマシル 5%

粘土鉱物 95%

4. 応急措置

4.1 応急措置

一般	気分が悪い場合は、毒物センターまたは医者に連絡する。
吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の手当、診断を受けること。
皮膚に付着した場合	多量の水で皮膚を洗う。汚染された服を脱がせ、もし刺激があれば医師の診断/手当を受ける。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。医師の手当、診断を受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐ。気分が悪い場合は毒物センターあるいは医者に連絡する。
予想される急性症状及び遅発性症状:	皮膚に付着した場合: 発赤。 眼に入った場合: 発赤、痛み。 飲み込んだ場合: 吐き気、嘔吐、下痢。

4.2 直ちに必要な医師の診察と特に必要な措置

症状に応じた処置

5. 火災時の措置

消火剤	放水、粉末消火剤、炭酸ガス、泡消火剤
使ってはならない消火剤	棒状放水
火災時の有害な分解生成物	燃焼ガスには、一酸化炭素等の他、窒素酸化物系のガス等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。
消火時の注意	消火作業は風上から行う。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。 消火を行う者の保護 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及 る。	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。 漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。 風上に留まる。 低地から離れる。 密閉された場所に立入る前に換気する。

環境保護	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。環境中に放出してはならない。
漏出の回収方法 漏出拡大の防止その他	漏出物の回収 認可された場所に回収清掃物を廃棄
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
技術的対策:	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。使用前に使用説明書入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
局所排気・全体換気: 安全取扱い注意事項:	接触、吸入又は飲み込まないこと。 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 環境への放出を避けること。 「10. 安定性及び反応性」を参照。 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。 「10. 安定性及び反応性」を参照。
接触回避:保管 技術的対策	施錠して保管すること。容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
8. ばく露防止及び保護措置	
管理濃度: 許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標): 設備対策:	設定されていない。 日本産業衛生学会(2005年版) 設定されていない。 ACGIH(2005年版) TLV-TWA 10mg/m3 A3 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。高熱工程で粉じん、ヒュームが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具:	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具:	必要に応じて適切な保護手袋を使用すること。
眼の保護具:	適切な眼の保護具を着用すること。 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具:	必要に応じて適切な保護衣、保護面を使用すること。
9. 物理的及び化学的性質(*は有効成分情報)	

外観	類白色細粒
pH	9.0
融点/凝固点	ブロマシル: 157~160°C(融点)
比重	0.93
溶解性	ブロマシル: 0.81g/L(20°C)(水)27) ヘキサン 0.231g/L(20°C) アセトン 114g/L(20°C) アセトニトリル 46.5g/L(20°C)27)
n-オクタノール/水分配係数	ブロマシル: log Pow=2.14(pH6.2,25°C)
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
臭いの閾値	データなし
蒸発温度	データなし
燃焼性	データなし
粘度	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常条件では反応性なし。加熱すると分解して、臭化水素、窒素酸化物などの有毒なヒュームを生じる。
化学的安定性	通常条件では安定である。酸あるいは酸化剤と接触すると分解する。
可能な反応性	通常条件下では危険な反応は起こらない
避けるべき条件	加熱
混触不適合物質	酸あるいは酸化剤
危険な分解生成物	通常の保管あるいは使用条件下では危険な生成物はないと考えられる。加熱、燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、臭化水素などが生成される。

11. 有害性情報

急性経口毒性: 飲み込んだ場合有害

経口	ラット雌雄>5000 mg/kg.
経皮	ラット雌雄>2000 mg/kg.
吸入	ブロマシル吸入(ミスト):ラット LC50(4時間)値:>4.2mg/L
感作性	なし
皮膚刺激性/腐食性	なし
眼刺激性	きわめて軽微
呼吸及び皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
繁殖毒性	分類できない
標的臓器-単回投与	分類できない
標的臓器-反復投与	分類できない
吸入性危害物質	分類できない

12. 環境影響情報

環境毒性全般	水生生物の長期間毒性あり
LC50 魚	(96h)LC50:>1000mg /l
EC50 ミジンコ	(48h)LC50:>1000mg /l

ErC50 藻類	ブロマシル藻類(緑藻)の72時間EbC50=0.00844mg/L
残留性	情報なし
生物濃縮性	低い
土壤中の移動性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
その他の有害性情報	情報なし
13. 廃棄上の注意	
残余物の廃棄	廃棄物処理:この製品が含まれる廃棄物は、現場でまたは認可された廃棄物処理施設で廃棄処分する。
14. 輸送上の注意	
国際規則	
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物
国際規則	非該当
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物
15. 適用法令	
労働安全衛生法	第57条の2 通知対象物 ブロマシル(政令番号502)
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	第1種・383
16. その他の情報	上記の情報は、現時点で入手可能な最良の情報を正確示していると考えます。しかし、当社は、明示的か黙示的かを問わず、商品性あるいはその他のいかなる保証をするものではない。その使用に起因する責任を負うものではない。ユーザーは、特定の目的のために、本文書の情報の適合性を判断するために、ユーザー自身が調査を行う必要がある。たとえ当社がその可能性についてアドバイスされていたとしても、当社は、第三者のいかなるクレーム、逸失利益、損害にたいして、逸失利益または特別、間接的、偶発的、結果的または懲罰的損害賠償に関して責めを負うものではない。